

あたたかいご寄付ありがとうございました

大切に活用させていただきます。

寄託金品

寄託金品をお寄せくださった団体や個人の皆様（敬称略・順不同）（平成29年1月～6月）

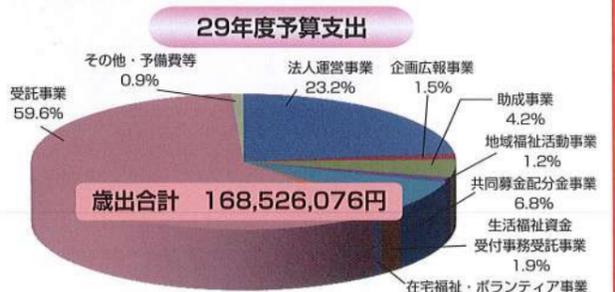
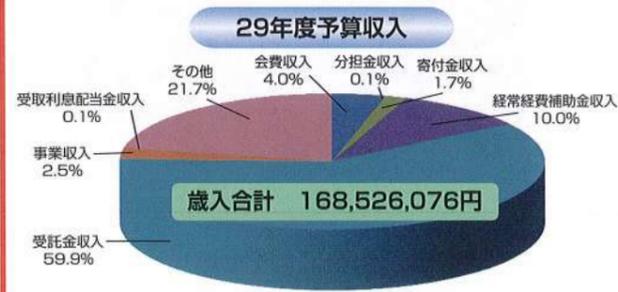
【寄託金】 ¥517,930

- (株)イトーヨーカドー労働組合溝ノ口支部
- 川崎市生活文化会館
- セレサ川崎農業協同組合 代表理事組合長 原 修一
- 高津地区一日一万歩歩こう会 会長 石塚 卯三夫
- 川崎歌謡連盟 代表 山本 信平
- 高津区吟剣詩舞道連盟 理事長 香西 慶洲
- 東急リゾートサービス・石勝エクステリア共同事業体 川崎国際生田緑地ゴルフ場
- 紫村千恵子とシャンソンの仲間たち
- 後藤 広子
- 内田 義一

【寄託品】 未使用タオル、使用済み切手等

- 川崎西プロバスクラブ 会長 岡島 弘
- スコレ家庭教育振興協会
- 北部身体障害者福祉会館

高津区社会福祉協議会 平成29年度予算概要



第45回 高津区敬老会

日時 平成29年9月15日(金) 13:00～15:30

会場 高津市民館 大ホール(ノクティ2 12階)
(住所 川崎市高津区溝口1-4-1)

内容 第一部 式典：満90歳祝い、福祉功労者等表彰
 第二部 歌謡ショー：歌川 二三子 氏
 コーラス：プリムローズ
 (川崎めぐみ幼稚園コーラス)

定員 450名(先着順)
 今年も高津区敬老会を開催いたします。高津区在住で、今年満90歳を迎えられる方に、お祝いをしております。皆さまのご来場をお待ちしております。

問合せ 高津区社会福祉協議会 電話 044-812-5500

赤い羽根共同募金にご協力を！

今年も10月1日より、街頭募金や戸別募金など様々な場所で、ご協力をお願いさせていただきます。

皆様からご協力いただいた募金は、県内の高齢者や障がい者・子どもたちのための施設、団体などに配分されます。また、区内の障害者地域作業所や在宅福祉サービス団体、地区社会福祉協議会などに配分され、地域福祉推進に利用される予定です。

10月1日～12月31日の共同募金運動期間中は、「ふるん太くん」バッジを始め、神奈川県共同募金会デザインのピンバッジやクオカード・図書カードを福祉パルたかつで取り扱います。

(なくなり次第取り扱いは終了します。)



フロンターレデザインバッジ



健康運動「おたっしゃ10のトライ」を高津区内で広く組織的に推進するために、「健康運動推進チーム(愛称：チームテントラ)」を設置しました。元気な高津を目指して、テントラちゃんの曲や体操が一人でも多くの区民の皆様にも広まるよう、チーム一丸となってがんばります。

編集委員 横山 滋 神田 幸一 小黑 久男 成田 まゆみ 川辺 清三 (順不同)

この広報紙は共同募金の配分金で作成されています。

高津区の福祉

おあしす

希望の泉

第45号

平成29年9月1日



(社会福祉協議会の会章)

発行 社会福祉法人 川崎市高津区社会福祉協議会
 川崎市高津区溝口1-6-10 3階福祉パルたかつ内
 TEL 044-812-5500 FAX 044-812-3549
 http://www.kawasaki-shakyo.jp/takatsu/
 E-MAIL: info@takatsukushakyo.com

発行人 齊藤 二郎
 編集人 おあしす編集委員会

町会長から見た 高津区社会福祉協議会



下野毛町会 会長 大島 明

私たちの生活は日々便利になっています。特に近年ではSNSの普及によって、いつでもどこからでも世界と繋がりを持つことができるようになり、ことさら隣人との付き合いがなくなるとも、生活に不自由を感じていない方が多くなってきているのではないのでしょうか。

しかしながら、地震や豪雨など激甚な自然災害が発生するたびに“地域の絆”の大切さが見直されています。

また、“地域の絆”は少子高齢化の問題からも求められています。これは、住み慣れたまちで安心して暮らし続けることのできる地域社会を作るためには、地域の人と人の繋がりを再構築し、地域の中で「生活の支援」・「介護予防」等、互いに助け合う『互助』を行うことが必要となっているからです。

かつては、向こう三軒両隣と言った近隣関係の中で、気遣いや支え合いが行われてきま

したが、核家族化が浸透した現在、こうした事が失われつつあります。

しかし、こうした精神こそが今、国をあげて進めている地域包括ケアシステムであると考えています。

川崎市は、他都市と異なり、高齢者のみならず、障がい者・子ども・子育て世代など全ての地域住民を対象とする地域包括ケアシステムの構築を目指し、様々な主体が、それぞれの役割分担の下、連携できるネットワークづくりを進めています。町内会や地区社協もその一翼を担う大事な組織であります。

特に当町会は準工業地域の為、住工混在地域ではありますが、工業協同組合とも積極的に連携を取りながら運営をし、相互の融和を図っています。今まさに、「ご近所の底力」や「団結力」によるプラスアルファの力が求められているのだと思います。

特集 地区社会福祉協議会の活動紹介

高津第三地区社会福祉協議会

高津第三地区社協の構成地区は**二子、瀬田、諏訪、北見方、下野毛**の高津区内多摩川沿い二子橋より下流地域で構成されております。

また、活動する構成員は民生委員児童委員、保護司、町会長・町会選出理事、老人会長、小学校長・PTA会長、ボランティアなどの方々総勢85名で活動しております。

『高津第三地区社協直轄ミニデイケア事業』を簡条にてご紹介いたします。

- ① いずみ会（会食会）（於）二子老人いこいの家、隔月1回、9月で177回目、対象独居老人
- ② 老人福祉部 春・秋歩こう会年2回、高齢者勉強会年1回、東高津小全生徒の手紙を入れた敬老祝い品作成（独居老人150名分）
- ③ あげぼの会（於）東高津いこいの家、毎月第3金曜日、対象は多少の歩行困難高齢者、車と徒歩での送迎・昼食付き
- ④ 児童福祉部 この4年間は東高津小にて4年生の親子対象に真冬の星空ウォッチング開催
- ⑤ 障がい児者福祉部 第三社協独自の部会
6月 東京ディズニーランドなどへの1日レクリエーション、
12月 クリスマス会、
3月 家族会パーティー



(12月クリスマス会)

この高津第三地区社協地域の各町会には地区社協より要請されて組織した、ご高齢者のミニデイケアがございますのでご紹介いたします。スタッフは地区社協地域の各町会居住の構成員と各町会居住のボランティアの皆さまです。

- ① 二子第1町会「ひまわり会」月1回（於）二子こども文化センター
- ② 二子第2町会「こでまり会」月1回（於）スペース・ライジングサン
- ③ 二子第3町会「すみれ会」月1回（於）二子会館
- ④ 二子第4町会「すまいるクラブ」月1回（於）前田会館
- ⑤ 二子第5町会「木遊会」月4回（於）二子老人いこいの家
木曜日に開催され、平成9年5月1日(木)が第1回目で本年8月10日(木)の開催が800回目になります。
- ⑥ 諏訪第1・2町会「諏訪ひだまり会」月1回
場所は「陽だまりの園デイサービス会場」の休日(日)をお借りして開催
- ⑦ 北見方町会「さつき会」月1回（於）北見方公民館
町会が大きいと参加者多数（他にお茶飲み会もあり）
- ⑧ 下野毛町会「あげぼの会」
会場が町会内にあるので主としてあげぼの会をお手伝い



(アユミバレエ教室の生徒さんたち)

以上、概略をご紹介いたしました。ボランティアご希望の方、またミニデイケアにご参加なされたい方はお近くの民生委員などの社協関係者にお問い合わせください。

橘地区社会福祉協議会 (末長、新作、千年、千年新町、子母口、久末、蟹ヶ谷、明津、野川)

心と身体をリフレッシュ

川崎市ふれあいデイセーター事業は、介護予防の観点から、入浴とミニデイサービスを組み合わせたユニークな取り組みです。現在市内4ヶ所の公衆浴場を活用して、毎月2回実施されています。（橘地区は、千年湯で実施）

「おはようございます。」デイセーターの朝は、毎回元気な挨拶が飛び交います。順番に健康チェックを受けた後、お昼まで体操やレクリエーションを楽しみます。昼食は、味付け、具材、量にこだわった高齢者に優しいお弁当をいただきます。午後は、いよいよ入浴です。もちろんこの日の一番風呂です。大きな浴槽につかり、ここでも話に花が咲きます。

デイセーター事業を通して、高齢者の外出機会の確保と、心と身体の健康に役立っていると自負しております。



落語・音楽カフェ

落語・音楽カフェは、平成28年度に若者と高齢者のふれあいの場を作ることを目的として、橘地区社協が全面的に協力し、民生委員や地域の協力者がボランティアで立ち上げ、23名でスタートさせ、高津老人福祉・地域交流センターで開催しております。

落語カフェでは、専修大学の落語研究会の学生にお願いし、ステージで落語を披露してもらっています。

音楽カフェでは、洗足学園音楽大学「たこゼミ」が、音楽付き絵本やお客様と一緒に懐かしの昭和歌謡を歌いました。

落語カフェは年2回、音楽カフェは年3回開催しています。お客様は、暖かく美味しいコーヒーとお菓子を召し上がりながら、リラックスして楽しいひと時を過ごしています。

平成29年度も、地域に密着した高齢者が楽しめる憩いの場所となることを願っています。



橘の散歩道ウォークラリー

橘の散歩道ウォークラリーは、今年で30回を迎えることとなりました。

本イベントは、高津区在住の小学生が地図を見ながらクイズやゲームを楽しみ、橘樹官衙遺跡群（たちばなかんがいせきぐん）をはじめとする橘地区内の史跡等を巡っていくというイベントです。

子どもたちは、日常生活ではなかなか体験できない「まち探検」を地元で体験できるとあって、毎年、目を輝かせて参加してくれています。また、女性部の皆様に作っていただき、参加者に配っているカレーライスも大好評で、本イベントの目玉となっております。女性部の皆様には心から感謝申し上げる次第です。

本イベントを通じて、子どもたちが地元愛を深め、将来の橘地区を一層盛り上げていってほしいと願いつつ、子どもたちの笑顔のために今後も継続していきたいと青少年指導員会一同、心から願っております。

